

株主のみなさまへ

第187期 中間報告書

(平成24年4月1日～平成24年9月30日)



〈蘇る桃山の美〉

宮城県仙台市にある瑞鳳殿は、桃山様式の遺風伝える鮮やかな色彩の豪華絢爛な廟建築で、1931年に国宝に指定されました。戦災により焼失しましたが、1979年に再建されたものです。

豊かな心で 未来をひらく



日本ペイント株式会社

Basic & New

ごあいさつ

株主のみなさまには、平素より格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループの第187期第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)の概況について、ご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、国内外における自動車用塗料の売上高増加もあり、連結売上高は前第2四半期連結累計期間(以下「前年同期」)と比較して125.1億円増加し1,193億33百万円(前年同期比11.7%増)となりました。

連結営業利益は、売上総利益が増加したことなどから前年同期と比較して85.3億円増加し135億50百万円(前年同期比169.8%増)となりました。

また、連結経常利益につきましては、前年同期と比較して81.8億円増加し146億46百万円(前年同期比126.4%増)となり、連結四半期純利益は前年同期と比較して43.0億円増加し78億29百万円(前年同期比121.7%増)となりました。

以上の業績から、中間配当は、直近発表(平成24年5月9日)より1円増配し、1株当たり6円とさせていただきます。

当社グループは、昨今の厳しい経営環境からの生き残りをはかるべく2009年度から3年間にわたり「サバイバル・チャレンジ」を策定し取り組んでまいりましたが、本年度新たに2014年度を最終年度とした中期経営計画を策定し実行しております。

新たな中期経営計画では、これまでの3年間を助走期間と位置づけ将来の飛躍に向けて「サバイバル・チャレンジ」を継承するだけでなく、「確固たる利益体質の定着」と「成長企業への転換」をめざし、国内・海外に分けてそれぞれ策定した基本戦略をもとに、市場から稼げる体質への転換を図ってまいります。

「サバイバル・チャレンジ」の取り組みにより利益体質への転換を果たすことができましたが課題もあり、その早期解決を図るとともに将来は世界のトップメーカーと肩を並べる企業をめざすべく活動を続けてまいります。

なお、平成25年3月期の連結業績予想につきましては、

売上高	2,330億円
営業利益	240億円
経常利益	270億円
当期純利益	160億円

新中期経営計画の最終年度(2014年度)には、

売上高	2,500億円
営業利益	250億円
持分法投資利益	80億円

の達成を目標としております。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

酒井健二

基本方針 ～市場から稼げる体質へ～

当社グループでは、2012～2014年度にかけて3年間を対象とする中期経営計画を新たに策定いたしました。

この新たな中期経営計画では、「利益体質の定着」と「成長企業への転換」をめざし、市場から稼げる体質へ転換していくことを基本方針としております。

なお、基本戦略として、大きく「国内施策」と「海外施策」に分けております。

基本戦略 ～国内施策と海外施策～

国内施策につきましては、継続的な販売管理費の削減をすすめるとともに、安価設計・安価調達・安価製造の実現をはかり、コスト構造の改革をすすめます。

国内市場は今後縮小していくと予想し、既存事業において新規獲得、シェアアップをめざすとともに、新たな需要を創出するために、未参入・未塗装分野や非塗料分野の開拓等「新市場の創造」に取り組んでまいります。

海外施策につきましては、アジアにおいてはアジア合併事業を中心に、持続的な成長と利益体質の強化をはかってまいります。また、北米では、営業黒字の確保、さらにはその拡大につなげて参ります。

■ 中期経営計画の位置づけ

サバイバル・チャレンジ		
Stage I '09～'11	Stage II '12～'14	Stage III '15～
助走期間	ホップ	ステップ・ジャンプ
利益体質への転換	利益体質の定着 成長企業への転換	世界トップ メーカーへ

■ 基本戦略

国内施策	海外施策
<ul style="list-style-type: none"> ◆既存事業の利益拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・新規獲得 ・シェアアップ ◆コスト構造の改革 <ul style="list-style-type: none"> ・「安価設計」 ・「安価調達」 ・「安価製造」 ◆新市場の創造 <ul style="list-style-type: none"> ・未参入/未塗装分野の開拓 ・非塗料分野の開拓 	<ul style="list-style-type: none"> ◆アジア事業 <ul style="list-style-type: none"> ・アジア合併事業の持続的成長 ◆北米事業 <ul style="list-style-type: none"> ・収益基盤の確立と拡大

連結決算の概要

(単位：百万円 百万円未満の端数は切り捨てております。)

◆四半期連結貸借対照表

科 目	前第2四半期	当第2四半期	科 目	前第2四半期	当第2四半期
	(186期)	(187期)		(186期)	(187期)
	(平成23年9月30日現在)	(平成24年9月30日現在)		(平成23年9月30日現在)	(平成24年9月30日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	131,002	148,083	流動負債	96,991	92,073
現金及び預金	20,496	27,383	支払手形及び買掛金	51,472	60,014
受取手形及び売掛金	75,496	82,975	短期借入金	31,031	15,645
たな卸資産	25,624	25,115	その他	14,486	16,414
その他	9,925	13,060	固定負債	23,653	24,260
貸倒引当金	△539	△451	長期借入金	7,348	7,124
固定資産	127,599	118,508	退職給付引当金	9,308	10,471
有形固定資産	62,245	59,482	役員退職慰勞引当金	236	240
無形固定資産	16,151	14,458	環境対策引当金	319	319
投資その他の資産	49,202	44,567	関係会社事業損失引当金	7	—
投資有価証券	42,029	38,605	製品保証引当金	495	456
その他	7,645	6,221	その他	5,937	5,646
投資損失引当金	△35	—	負債合計	120,644	116,333
貸倒引当金	△437	△259	(純資産の部)		
資産合計	258,602	266,591	株主資本	142,069	156,287
			資本金	27,712	27,712
			資本剰余金	27,187	27,187
			利益剰余金	87,492	101,717
			自己株式	△323	△330
			その他の包括利益累計額	△13,473	△15,497
			その他有価証券評価差額金	△1,476	△1,001
			繰延ヘッジ損益	△6	1
			為替換算調整勘定	△11,991	△14,498
			少数株主持分	9,362	9,467
			純資産合計	137,957	150,257
			負債純資産合計	258,602	266,591

(注) 有形固定資産の減価償却累計額 118,422百万円 120,033百万円

◆四半期連結損益計算書

科 目	前第2四半期	当第2四半期
	(186期)	(187期)
	(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	106,827	119,333
売上原価	73,119	77,975
販売費及び一般管理費	28,686	27,807
営業利益	5,021	13,550
営業外収益	3,098	2,986
営業外費用	1,649	1,889
経常利益	6,470	14,646
特別利益	132	3
特別損失	467	1,003
税金等調整前四半期純利益	6,135	13,646
法人税等	2,296	5,199
少数株主損益調整前四半期純利益	3,838	8,447
少数株主利益	(減算) 307	(減算) 617
四半期純利益	3,531	7,829

(注) 1. 1株当たり四半期純利益 13円34銭 29円58銭
2. 連結子会社 45社 49社
持分法適用会社 15社 16社

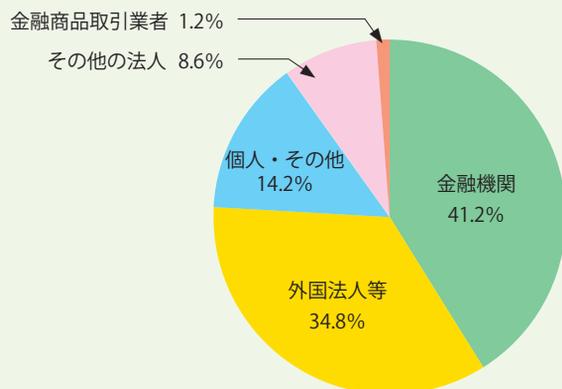
◆四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	前第2四半期	当第2四半期
	(186期)	(187期)
	(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,159	10,177
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,400	△2,615
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,535	△15,381
現金及び現金同等物に係る換算差額	△73	△192
現金及び現金同等物の増減額	△7,850	△8,012
現金及び現金同等物の期首残高	28,346	35,126
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,496	27,114

(注) 現金及び現金同等物の範囲
手許現金、随時引き出し可能な預金及び取得日から3カ月以内に期限の到来する短期投資

発行可能株式総数 1,000,000,000株
 発行済株式の総数 265,402,443株
 株主数 11,745名

所有者別分布状況 (株式数比率)



大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
FIRST INDUSTRIES CORP.	38,516	14.55
BARCLAYS CAPITAL SECURITIES LIMITED	13,083	4.94
日本生命保険相互会社	11,386	4.30
住友生命保険相互会社	10,750	4.06
株式会社三井住友銀行	9,999	3.78
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	8,463	3.20
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	7,564	2.86
株式会社三菱東京UFJ銀行	7,133	2.69
三井住友信託銀行株式会社	7,053	2.66
ピー・エヌ・ピー・パリバ・アビトラージュ・エヌ・シー	5,460	2.06

(注) 1. 持株比率は、自己株式690,332株を除いて算出しております。
 2. FIRST INDUSTRIES CORP.は、当社のアジア地域における合併事業のパートナーが保有する投資会社であります。

本 社 〒531-8511 大阪市北区大淀北 2-1-2
 電話 06-6458-1111
 創 業 明治14年3月14日
 資 本 金 277億1千2百万円
 主要な事業内容 塗料およびファインケミカルの製造・販売など。

役員

代表取締役社長	酒 井 健 二
代表取締役専務執行役員	馬 場 良 一
取締役専務執行役員	上 野 裕 章
取締役常務執行役員	西 島 寛 治
取締役常務執行役員	村 上 良 一
取締役上席執行役員	利 光 哲 也
取締役上席執行役員	石 原 良 治
取締役上席執行役員	中 村 英 朗
常 勤 監 査 役	森 田 俊 明
常 勤 監 査 役	桑 島 輝 昭
監 査 役	小 原 正 敏
監 査 役	清 水 正 裕
監 査 役	高 橋 司

事業年度	4月1日から翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	6月中
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区 伏見町三丁目6番3号 フリーダイヤル 0120-094-777
公告方法	電子公告により行う。 http://www.nipponpaint.co.jp/koukoku/ ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株式に関するお手続きにつきましては、
下記の「お問い合わせ先」にお申し出ください。

お問い合わせ先

お取引の証券会社等の口座で管理されている
当社株式に関する配当金振込指定、
住所変更・単元未満株式買増・買取請求等のお手続き

お取引口座を開設されている証券会社

未受領の配当金に関するお手続き
特別口座で管理されている
当社株式に関する配当金振込指定、
住所変更・単元未満株式買増・買取請求等のお手続き

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
フリーダイヤル 0120-094-777

ホームページのご案内

当社ホームページにて、決算情報やニュースリリースを随時
ご提供しております。

<http://www.nipponpaint.co.jp/>

日本ペイント